

株主通信

証券コード：5133

2026年3月期通期
[2025年4月1日～2026年3月31日]



株主の皆さまには、平素より格別のご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。2025年度（2026年3月期）における当社グループの連結業績は、売上高、受注高、受注残高ともに2024年度を大きく上回り、売上高は、前年に比べ1,992百万円（前年比23.0%増）増加した10,646百万円と大幅な増収となりました。これは主に、セキュリティ部門、ソリューションサービス部門の受注活動が堅調に推移したことで、売上高、受注残高が増加したことによるものです。

社会インフラや製造業におけるセキュリティ対策が経営課題として定着する中、当社グループ会社のテリロジージャパン社が推進するOT/IoTセキュリティへの需要は一段と加速し、国内大手企業や公共インフラ分野での大規模な導入が極めて好調に推移しました。

また、当社グループ独自のサイバーセキュリティの脅威情報解析サービスを得意とするコンスタラセキュリティジャパン社は、総務省のインターネット上の偽・誤情報対策技術の開発・実証事業、防衛省関連プロジェクト、警察庁向け案件など政府機関案件を数多く推進したほか、当社グループ内で培った知見を基に開発した独自技術の採用も着実に進展しており、官公庁分野を中心に事業の広がり実績の積み上げが一段と進んでおります。

その他、好調なインバウンド需要の動向を背景に、テリロジージャパンサービスウェア社が提供する多言語リアルタイム映像通訳サービスは、百貨店、小売店、宿泊施設を中心とした受注活動により、大手日系、外資系ホテルに採用されたほか、訪日インバウンドメディアを活用したプロモーション事業を行うイグルー社は、官公庁や自治体、民間企業からの訪日外国人を誘客するPR需要が増加したことで、売上の増加に大きく貢献しています。

一方で、地政学的リスクによる資材高騰と未曾有の円安の影響から輸入商品の仕入価格が引き続き上昇したほか、中長期的な経営戦略の実現に向けた業容拡大のための成長投資である人的資本への投資を継続したことで費用は増加したものの、売上高の増加と一部製品の価格改定の効果により営業利益、経常利益ともに前年と比べて大幅な伸びを見せております。

この結果、2025年度の営業利益・経常利益は、それぞれ前年比101.0%増の549百万円、100.8%増の656百万円と大幅な増益となりました。

なお、当社グループは、資本コストや株価を意識した経営を実践すべく重要な指標の一つとしてROE（自己資本利益率）を捉え、目標とする経営指標を「ROE10.0%」と定めておりましたが、2025年度は「ROE11.4%」を達成することができました。

当社グループは、「2026年度に年商100億円の突破」を目指した2025年度から2027年度の新3カ年計画を発表し、その目標の達成に向けて取り組んでおりました。

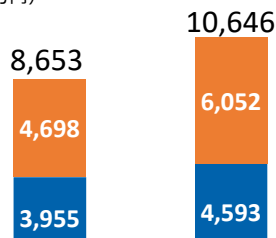
2025年度は、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のすべてにおいて、2026年度の目標値を概ね達成したため、新たに2026年度から2028年度までの3年間を対象とするテリロジージャパン新中期経営計画を策定いたしました。

最終年度の2028年度は、売上高で150億円、経常利益で12億円を目標に掲げて邁進してまいります。株主の皆さまにおかれましては、より一層のご理解とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

連結業績ハイライト

売上高 (百万円)

■ 上期 ■ 下期

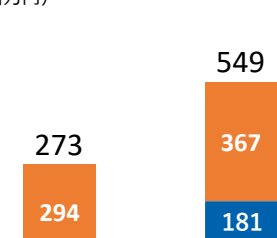


2024年度

2025年度

営業利益 (百万円)

■ 上期 ■ 下期

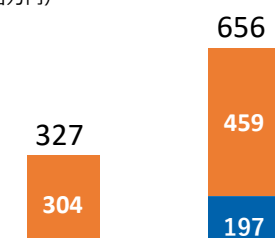


2024年度

2025年度

経常利益 (百万円)

■ 上期 ■ 下期



2024年度

2025年度

■ 中期経営計画における基本的な考え方

当社グループは、「2026年度に年商100億円の突破」を目指した2025年度から2027年度の新3カ年計画を発表し、その目標の達成に向けて取り組んでまいりましたが、2025年度は、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のすべてにおいて、2026年度の目標値を概ね達成することができました。当社グループは、経営環境の変化に対応するため毎期目標数値を見直すローリング方式を採用しており、さらなる事業環境の精査と見直しを行い、新たに2026年度から2028年度までの3年間を対象とするテリロジーグループ新中期経営計画を策定いたしました。

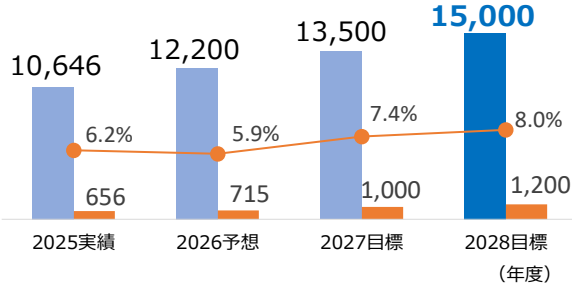
最終年度の2028年度は、売上高で150億円、経常利益で12億円を目標に掲げて邁進してまいります。

■ テリロジーグループ新3カ年中期経営計画

売上高・経常利益

(百万円)

売上高150億円の挑戦
(年平均成長率11.2%)



■ 持続的な企業価値の向上へ

当社は、資本コストや株価を意識した経営を実践すべく重要な指標の一つとしてROEを捉え、目標とする経営指標を「ROE10.0%」と定めておりましたが、2025年度は「ROE11.4%」を達成することができました。

2026年度は「ROE12.0%」を目標に掲げて、収益力の強化に加え、資本効率を高めることでROEの維持・向上を図るとともに、企業価値と株主価値の最大化に努めてまいります。

経営指標	2025実績	2026目標数値
自己資本利益率 ROE	11.4%	12.0%

■ トピックス

■ サクサ株式会社と資本業務提携を締結し、サクサが当社発行済株式総数の4.83%を取得

当社は、2025年5月9日、サクサ株式会社と資本業務提携し、サクサは市場買付により当社が発行する株式のうち825,800株（発行済株式総数の4.83%）を取得いたしました。

また、当社は、サクサが発行する株式のうち取得総額約300万円に相当する株式（10,000株程度、発行済株式総数の0.16%程度）を目安に市場買付により取得しております。

当社グループとサクサグループは、情報セキュリティ対策強化に向けたサクサグループへの当社グループ製品・サービスの実装及びサクサグループをモデルケースとした中堅企業向けセキュリティソリューションの商材化等の戦略的業務提携を進めてまいります。

■ キャロルシステム仙台株式会社の全株式を取得して子会社化

当社は、2026年2月26日、当社グループ全体での開発能力の強化と東北地方における案件対応能力の更なる向上を図るため、キャロルシステム仙台株式会社の全株式（取得株式数300株、議決権所有の割合100.00%）を取得し子会社化いたしました。

キャロルシステム仙台社は2010年の創業以来、東北を代表する大手企業、大手Sierのお客様を中心にソフトウェア開発を提供しており、高い信頼に基づき長年に渡ってお取引をいただいております。

また、東北地方における高い技術者採用力を保有し、その育成にも定評がある企業であります。

■ 2026年3月期の期末配当より「累進配当」を導入

当社は、2026年3月期の期末配当より配当政策を変更し、1株当たり毎期20銭を目安に増配を実施する「累進配当」を導入いたしました。

2026年3月期の期末配当は、5円/1株→5円20銭に増配し、配当性向は25.6%になります。

■ 株式情報

株主メモ

- ・事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- ・期末配当金受領株主確定日 3月31日
- ・定時株主総会 毎年6月
- ・単元株式数 100株

- ・株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- ・株主名簿管理人・特別口座管理機関へのお問い合わせ **TEL:0120-232-711**
(フリーダイヤル)



株式会社テリロジーホールディングス
<https://www.terilogy-hd.com/>

IR・投資家情報はこちら
<https://www.terilogy-hd.com/ir/>